

# ガリ総長、構想にエール

国境を超える緊急医療活動を展開してきたアジア医師連絡協議会（AMDA、本部・岡山市）の菅波茂代表が、国際貢献のプロを育成する「AMDA国際大学設立構想」を国連に呼びかけたところ、プトロス・ガリ事務総長が一月三十一日、提案を支持する返書を送ってきた。

菅波氏によると、緊急援助や社会開発の現場では、非政府組織（NGO）が活動しやすいように、現地で

の調整役、NGOコーディネーターが不可欠だ。菅波さんの提案は、そうした人材を育成するための四年制大学を岡山に設立。「国際貢献学部」の名の下に外国語、国際法、宗教学などに力点を置いたカリキュラム、海外の難民キャンプでの実習などを通し、NGO活動家、コーディネーターとなる人材を育成していくというもの。

ガリ氏は返書の中で「国連がその使命を遂行する中

で、近年ますますNGOやボランティア団体の協力に頼らざるを得なくなっている」と率直に認めただ上、「新しい大学の目的は国連の目的とぴたり一致する」と歓迎している。

菅波氏は昨年八月、世界平和に貢献する研究者らに贈られる「プトロス・ガリ賞」を受賞。そのお礼を兼ねて十二月に同構想を提案する手紙をガリ氏に送っていた。